

## 令和2年度 第2回通常総会 議事録

1. 日 時 令和2年11月24日(火) 13時00分～15時30分
2. 場 所 WEB会議(ZOOMシステム) アルカディア市ヶ谷
3. 会員総数 112名
4. 出席会員 106名(出席者51名 出席者委任30名 議長委任25名)
5. 出席した理事  
会 長 井上 圭三(議長兼議事録作成者)  
副 会 長 後藤 直正 楠 文代  
常務理事 中村 明弘 灘井 雅行  
浜岡 純治 加留部 善晴  
理 事 亀井 美和子 田中 芳夫  
宮田 興子 篠塚 和正
6. 出席した監事 富田 基郎 市川 厚
7. 出席した参与 乾 賢一 本間 浩

### 8. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定により井上会長が議長に就任し、本日の出席会員が106名にて定款に定める定足数を満たしており、本総会が有効に成立していることが宣言された。

また、議事録署名人として出席理事から楠 副会長、灘井常務理事を指名し、事務報告の後、直ちに議案の審議に入った。

#### (1) 前回議事録の確認について

前回議事録(令和2年度第1回通常総会:令和2年6月2日開催)について、これを全会一致で承認した。

#### (2) 会長指名理事及び理事の補充人事について

##### ① 会長指名理事について

井上会長から、資料4に基づき会長指名理事の提案があり、協議の結果、これを全会一致で承認した。

帝京平成大学 薬学部長 亀井 美和子

##### ② 理事の補充人事について

井上会長から、令和2年6月30日付で辞任した伊藤智夫理事(北里大学理事・学長)の後任について、令和2年度理事選挙の結果に基づき、資料4のとおり後任理事の提案があり、協議の結果、これを全会一致で承認した。

明治薬科大学 理事長 佐川 賢一

(3) 令和3年度事業計画(案)について

小池事務局長から、資料5「令和3年度事業計画(案)」に基づき説明があり、協議の結果、これを全会一致で承認した。

(4) 令和3年度収支予算(案)について

小池事務局長から、資料6「令和3年度収支予算書(案)」に基づき説明があり協議の結果、これを全会一致で承認した。

(5) 令和2年度教育賞受賞者の選考について

井上会長(教育賞受賞者選考委員会委員長)から、本年度候補者2名(特定の事業に功績のあった者として「共用試験検討委員会委員長」からの推薦)について説明があり、次いで、資料7に基づき、11月4日に開催した「教育賞受賞者選考委員会及び第65回理事会」において選考した2名は、広く薬学教育の発展に寄与するとともに、薬学教育に関する普及・啓発活動等に顕著な業績が見られること等から、教育賞受賞者として決定したことの報告があり、本総会においてもこれを了承した。

増野 匡彦(慶應義塾大学薬学部 教授)

前田 定秋(摂南大学薬学部 教授・副学長)

なお、総会終了後の教育賞授与式について、今回は2名の受賞者ともに所要のため出席できないことから、行わないこととなった。

(6) 日本私立薬科大学協会への入会申し込みについて

井上会長から、資料8に基づき、学校法人国際医療福祉大学から提出された「国際医療福祉大学福岡薬学部」の入会申請の説明があり、協議の結果承認された。

(7) 学生入学定員の遵守について

井上会長から、入学定員遵守について、令和2年度においても入学定員を超過する大学がみられたこと等から、資料9のとおり令和3年度についても「入学定員と入学者数が等しくなるよう、厳正な定員管理を徹底する。」ことを申し合わせるとして提案され、承認された。

(8) 広報誌「6年制薬学ガイド2022」の刊行について

井上会長(広報誌編集委員会委員長)から、広報誌「6年制薬学ガイド」は、薬学部を目指す高校生、高校の進路指導担当者を対象に毎年刊行しているものであり、2022年版についても引き続き刊行することとし、資料10に基づき、掲載内容(「生命(いのち)をささえる薬剤師」と題し、在宅医療及び褥瘡治療に関わる薬剤師を取り上げること、大学で学ぶコアカリキュラム、研究内容の紹介、卒業後の進路等)について報告があった。

#### (9) 令和3年度主要会議開催予定について

小池事務局長から、資料11に基づき令和3年度主要会議の開催予定について報告があった。

#### (10) 薬学教育協議会について

本間参与(薬学教育協議会代表理事)から、資料12に基づき以下について報告があった。

- ①令和2年度版薬学教員名簿を刊行し、関係機関へ送付した。
- ②令和3年度実務実習広報用ポスターを日本病院薬剤師会との協力で作成中であり、来年2月下旬に関係機関へ発送予定である。
- ③コロナ禍での指導薬剤師認定のためのワークショップについて、実施マニュアルを作成した。
  - ・感染症対策下でのワークショップを関東地区、中四国地区で実施
  - ・オンラインワークショップが実施できることを確認
- ④実務実習指導薬剤師の認定業務について、薬学教育協議会へ移管することを日本薬剤師研修センターと話し合いを進めている。
  - ・新規認定及び更新認定に必要な講習会のプログラム改訂
  - ・「実務実習指導薬剤師」の審査及び認定証の発行
- ⑤2019年度実務実習実施結果(病院・薬局)について
- ⑥令和2年度在籍者数(6年制学生・4年制学生)について

#### (11) 薬学共用試験について

奥 薬学共用試験センター理事長から、資料13に基づき「新型コロナウイルス感染症に伴う特別試験の実施について(案)」及び「2021年度薬学共用試験実施予定案」の説明があり、12月4日(金)に開催される全国薬科大学長・薬学部長会議第2回総会へ提案することとなっている。

##### ①新型コロナウイルス感染症に伴う特別試験の実施について

本年度に限り、「新型コロナウイルス感染症に罹患あるいは濃厚接触者と認定されたこと等により、本試験あるいは追・再試験を受験できなくなった学生を対象」に特別試験を実施する。また、疑いのため受験できなかった学生も対象とする。

- ・インフルエンザ等他の感染症、病気、怪我等は対象としない。
- ・特別試験の受験料は徴収しない。
- ・特別試験の実施及びその対象者の最終判断は大学が行うこととする。
- ・対応期間は、追・再試験期間終了後とし、4月上旬を予定。

##### ② 2021年度薬学共用試験実施予定案について

試験実施時期について

- ・本試験：2021年12月1日(水)～2022年1月28日(金)

- ただし、OSCEは、2021年11月27日（土）から実施可
- ・追・再試験：2022年2月15日（火）～3月12日（土）
  - ・CBT体験受験：2021年7月14日（水）～9月10日（金）
- ただし、8月6日（金）～23日（月）は除く。

受験料について

- ・本試験受験料：24,000円
- ・再試験受験料：CBT、OSCEそれぞれにつき12,000円
- ・CBT体験受験料：2,000円

## (11) その他

### 1) 文科省委託費「6年制薬学教育制度調査検討委員会」の検討状況について

井上会長から、本検討委員会における取り組むべき課題は、①6年制薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に向けた調査・研究②薬学研究科4年制大学院に向けた調査・研究であり、検討課題等について私見として資料14に基づき以下のとおり発言があった。

- ①「薬剤師として求められる基本的資質」と実際のコアカリの構成にギャップがある。学修成果基盤型教育に相応しい資質とコアカリとの連携を明確に見える形にする必要があるのではないかと。
- ②SBOが1000項目余りと非常に多く、細かいこと。一つひとつこなすだけで大変で個々の大学が個性を発揮する余裕がない。スリム化は簡単ではないが各大学の自由度を加味し、もう少しシンプルにまとめるべきである。
- ③医師など多職種の教育では、「プロフェッショナリズム」の重要性を教えているが、薬学部では聞く機会は多くない。現場で薬剤師が活躍する姿を見ることで初めて学生がプロフェッショナリズムを感じるものと考えられる。次期改訂ではプロフェッショナリズムへの言及は避けられない。どのように教育するのか実務実習のあり方も含めて熟慮する必要がある。
- ④充実した薬物治療を実践する能力等は卒前では充分身につかず、卒後の研修、生涯にわたる研鑽で高みに達する。卒後以降を見据えてコアカリを考える必要があり、学部教育と卒後研修の切れ目のない連携が重要である。
- ⑤最前線で活躍する若手薬剤師から薬剤師の現状に危機感を持っている人々が課題や将来展望等、何を考えているか、新しいコアカリに何を期待するかヒアリングを行っている。また、医師、歯科医師、看護師等からもヒアリングを行っている。

## 2) PCR 検査に関する新しい取り組み状況について

新型コロナウイルス感染症に関する各大学の PCR 検査に対する取り組み状況について、4 大学（昭和大学、東京薬科大学、武庫川女子大学、長崎国際大学）の資料配布（資料 15）があった。

## 3) 第 5 回日本薬学教育学会大会について

乾 参与（日本薬学教育学会理事長）から、資料 16 に基づき、第 5 回日本薬学教育学会大会「未来を変える薬学教育の力～医療の絆が新たなチャレンジを実現する～」が、9 月 12 日（土）、13 日（日）に帝京大学板橋キャンパス（大会長：奥 帝京大学薬学部長）を配信室として WEB 開催（ライブ＆オンデマンド配信）され、多数の参加者を得て、盛会裏に終了したこと及び第 6 回大会は令和 3 年 8 月 21 日（土）、22 日（日）に名城大学薬学部を大会校として開催予定であることの報告があった。

## 10. 薬学教育の諸問題について

(1) 文部科学省高等教育局医学教育課 福島薬学教育専門官から以下のことについて説明があった。

- 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う臨床実習等の取扱いについて
- 改訂コアカリキュラムに基づく実務実習の実施状況等アンケート調査について
- 薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂について
- 令和 2 年度の入学試験・6 年制学科生の修学状況について  
情報の公表にあたり「公表用フォーマット」を修正
- 各種要請等について
  - ・ 薬害防止に関する教育の充実について
  - ・ B 型肝炎に関する教育の充実等について
  - ・ 死因究明等の推進について
  - ・ アンチ・ドーピングに関する教育の充実について
  - ・ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）のさらなる使用促進及び教育内容の充実について
  - ・ アレルギー疾患に関する教育の充実について
  - ・ 健康被害救済制度について
  - ・ フィブリノゲン製剤の調査等に関する協力依頼について
  - ・ 内服薬処方せんの記載方法のあり方に関する検討会報告書について
  - ・ 文部科学省・スポーツ庁・文化庁国民保護計画について
  - ・ 大学病院における患者情報の漏洩について
  - ・ 大学病院における個人情報の適正な管理について
- 令和 3 年度概算要求について

(2) 厚生労働省医薬・生活衛生局 安川薬事企画官から以下のことについて説明があった。

- 第 106 回薬剤師国家試験の施行について
  - ・新しい出題基準が適用されるが、大きく傾向が変わるものではない。
  - ・試験制度自体は、前回と同様（相対基準による判定、禁忌肢）
  - ・受験生には、成績通知書を送付
  - ・合格基準に関して、相対基準の導入時に、基本方針において示されていた「当分の間」の規定は、今回から適用しない。
  - ・現状では、新型コロナウイルス感染症対策を行い、期日どおり実施予定である。
- 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律（令和元年法律第 63 号）の概要について
- 令和元年度医薬品販売制度実態把握調査の結果について
- 薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会について
  - ・薬学教育 6 年制課程が開始されて以降、薬機法等の改正により薬剤師に求められる役割が変化してきている状況から、今後の薬剤師の養成や資質向上に関する課題（薬剤師の需給調査、薬剤師の養成、薬剤師の資質向上に関する事項、今後の薬剤師のあり方）を検討する。

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、15 時 30 分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事（指名された議事録署名人）がこれに署名捺印する。

令和 2 年 12 月 15 日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長兼議事録作成者 井 上 圭 三  
(押印済)

出席理事（議事録署名人） 楠 文 代  
(押印済)

出席理事（議事録署名人） 灘 井 雅 行  
(押印済)